

講演

神戸港のウォーターフロント 再開発について

(第129回月例会)

阪神淡路大震災により大きな被害を受けた神戸港ですが、その後、神戸空港の造成開港、国際戦略港湾の指定を経て、開港から158年を迎えた今日、神戸港新港突堤西地区の「ジーライオンアリーナ神戸」の開業につづき、新港第一突堤と第二突堤間の水域では大型艇に特化したマリナー計画が2027年開業を目指して進められています。

また、京橋地区は、再開発計画指針「神戸ウォーターフロントグランドデザイン」において、ウォーターフロントのエントランスと位置付けられ、旧居留地との連携や回遊性向上、にぎわい創出などの取り組みが進められており、波止場町には2028年開業にむけてライブハウスが整備される予定です。

今回は、神戸市港湾局から講師を迎え、「神戸港のウォーターフロント再開発について」とのテーマで講演していただきます。

■講師

神戸市港湾局ウォーターフロント再開発推進課
課長 青位 宙（あおい みちと）氏

■開催日時

令和8年9月30日（水）15:00～16:00頃まで

■開催場所

神戸市中央区東町115番地 神戸市中央区文化センター 10階 1001-1002会議室



入場無料
(定員50名)

■主催

公益社団法人 神戸海難防止研究会（担当：渡川又は藤原）
電話 078（332）2035